

東区まちづくりプラン 2020年度（令和2年度）実績

3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり

項目	課題と対(必要性)	新規	継続	具体的な取組	指 標				2025年度	2030年度	新型コロナ感染症の影響	実施時期 (変更があった場合の実施時期)	評価	取組内容	検証シートページ		
					2019年度実績	2020年度(令和2年度)										2025年度	2030年度
						目標値	年度末実績	進捗率									
(1)二葉の里歴史の散歩道などの活用	二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。		○	(ア)「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう!	年間参加者数	815人(2018年)	830人	0人	0%	871人	911人	大	通年(一)	中止	予約なし・人数制限なしで不特定多数が参加する「ふたばの日」は中止した。新しい生活様式を踏まえた予約制の「いつでもガイド」は、32回実施し、110人が参加した。	19	
				(イ)「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう!	イベントの来訪者数	1,900人	2,000人	0人	0%	2,250人	2,500人	大	8月(一)	中止	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「夏の夜、祈りと平和の夕べ」を中止した。	20	
(2)都心の近くにある自然とのふれあいの促進	都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。		○	(ア)自然観察の楽しさを広めよう!	年間参加者数	198人	200人	59人	30%	250人	250人	大	通年(11月)	△	4月～10月の各自然観察会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中止となった。11月の「秋の自然観察会」は、感染症対策を行った上で実施した。	21	
				(イ)都心に近い「牛田山」の魅力伝えよう!	牛田山ハイキング参加者数	177人	180人	0人	0%	200人	200人	大	11月(一)	中止	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、共催の東区スポーツセンター、公民館、学区体育協会と協議した結果、「牛田山くるとハイキング」を中止した。	22	
				(ウ)地域主催のハイキングイベントを増やそう!	ハイキングイベントの新規実施件数	4件/年	1件/年	1件/年	100%	1件/年(2022年度)	累計3件	大	通年(11月)	◎	11月に温帯公民館で高尾山のハイキングイベントを実施した。尾長山・大内越山でのハイキングイベント実施に向けて、二葉公民館と協議した。	23	
(3)地域資源を生かした住民主体の活動の推進	東区の魅力や活力をさらに高め、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。		○	「魅力と活力向上推進事業補助金」	新規申請件数	4件	4件以上/年	2件/年	50%	4件以上/年	4件以上/年	大	通年	○	地区社会福祉協議会等の団体への案内の送付や、全町内会長に送付する文書発送に併せて制度のお知らせを同封するなどして、より広く周知を図った。	24	
(4)大学との地域連携によるまちづくり	地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。		○	(ア)健康づくりに取り組む若者を育てよう!	健康展の出席回数	1回/年	2回/年	1回/年	50%	2回/年	2回/年	大	10月～11月(11月)	○	健康展が中止となったため、11月6日に女学院大学1年生及び教職員300名を対象とした講演会をオンラインで開催し、健康づくりに関する啓発を行った。	25	
				(イ)命の大切さや思いやりの心を育もう!	大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催件数	1回/年	1回/年	1回/年	100%	1回/年	1回/年	大	12月(3月)	◎	新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮し、比治山大学生による親子ふれあい遊びを3月17日にオンラインで実施し、14組の親子が参加した。	26	
(5)スポーツにふれあう機会の充実	東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通して、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。		○	(ア)地元トップアスリートを応援しよう!	東区応援団の参加者数	90人	100人	0人	0%	150人	200人	大	9月～2月(一)	中止	新型コロナウイルス感染症の影響により、応援隊を結成しての応援はできなかったが、オンライン観戦の呼び掛けや、学区体育協会の方たちのメッセージを届けるなどの方法で応援した。	27	
				(イ)高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう!	ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数	3回	3回	0回	0%	3回	3回	大	5月、7月、12月(一)	中止	例年参加者が多い3つのイベントは今年度全て中止となったが、来年度の開催に向けて、引き続きスポーツセンター・体協と協議を行った。	28	
(6)都心に近い農業地域の活力向上	「木曜であいい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であいい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。		○	「木曜であいい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう!	年間来場者数	4,444人/2017年 3,500人/2018年	4,000人	0人	0%	4,250人	4,500人	大	通年(一)	中止	1月再開予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策の再拡大を受け、生産者と協議し、中止した。	29	
(7)地域の魅力の継承	子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。		○	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	3者が学習支援を実施する学校等の数	4校/年	4校/年	3校/年	75%	7校/年	9校/年	小	5月～11月(6月～10月)	○	矢賀小(6・11月)、尾長小(10月)及び牛田小(10月)に対して学習支援を実施した。	30	